

森を守りたい

～森林資源の見える化、想いと経済を守るトータルサポート～

「日本の美しい森林を守りたい」というような「想い」を大切にしている方へ。

私たちと一緒に、山を元気にしていきませんか。

ForestEyeでは、森林計測・解析だけではなく、さまざまなサポートまで承っております。



ForestEye



「ForestEyeって何ができる会社なの？
森を診て、森を元気にする。って具体的に
どういうこと？」

ForestEyeのサービスを活用いただき、「森を守るパートナー」として連携している株式会社百森の田畑さま・長井さまと、ForestEye代表・張の対談を通して、ForestEyeの想いや具体的な活用方法を紐解きます。



株式会社 ForestEye
代表取締役 張 桂安 (チョーケーアン)

日本中を自転車で旅して、日本の森林の美しさに魅了される。信州大学に入学し、大学3年生から大学院終了まで、森林計測・解析技術の腕を磨く。卒業後、地域おこし協力隊として岡山県・西粟倉村へ移住。



株式会社百森
代表取締役 (共同代表) 田畑 直さん

県外でのIT企業勤務を経て、西粟倉へ移住・株式会社百森を共同で起業。西粟倉村の推進する「百年の森林構想」において、村内の森林管理・山林活用に携わる。



株式会社百森
山守 長井 美緒さん

前職在籍中に西粟倉村役場へ出向、「百年の森林構想」を担当していた経緯がある。その時に専門機関の必要性を感じ、株式会社百森の創業を提案したキーパーソン。育児休業後、百森の山守に。

POINT 1

効率的で、比較的安価な 「作業量の算出」に最適！

木の太さ・高さ・材積など、「最新の森の状態を、大まかに知りたい」という方に、ドローンと人間の目の双方を活かした、ForestEyeの森林計測・解析データサービスが役立っています。

長井さん：「最新のデータを活用して、もっと効率的に作業量の算出のための材積量把握（山に木がどのくらいあるか）ができないか模索していた時に、ForestEyeさんに相談しました。山を歩きながらのプロット調査は、膨大な時間がかかります。抽出する場所が適確でない場合、出戻りが多いのも現実です。そのため、手軽に空中写真が撮れる、ドローンを駆使した調査はピッタリでした。また、調査したい広さが一団地（約5～10ha）ほどの場合、航空機を使って撮影する方法は費用面・時間面共に現実的ではないため、ForestEyeさんのサービスがピッタリとはまったのです。」

張：「ドローンを活用することで、1ha～の計測・解析が可能です。さらに弊社では、解析の精度を上げられるように、実際に山へ入って、人の目で確認することも大切にしています。」

結果

森林調査の効率化で、山への時間のかけ方が変わる！

長井さん：「作業量の算出が効率化できたことで、実際に山に入って、人の目で見なければわからないことへ、より時間をかけられるようになりました。例えば、作業道を作る時などは危険な箇所がないかの確認や、空中写真には映らない石の確認などが必要ですので、本質的に使うべきところへ、時間を有効活用できるようになりましたね。」

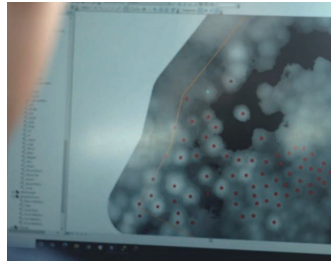
ドローン活用術～オルソ画像作成まで、 トータルサポート！

ForestEye のサービスの大きな特徴は、ドローンによる撮影方法や、解析に活用できるオルソ画像*の作成方法の初期指導までサポートを行っている点です。

*オルソ画像とは：空中写真の歪みを補正した画像。対象物の形状や位置が正しく把握できるため、より正確な計測・解析に活用される。



ドローンを活用した空中写真の撮影の様子



オルソ画像を活用した森林解析

田畑さん：「私たちは、ドローンを活用して撮影することも、写真をオルソ化することも、自社で担えるようになりました。精度の良いオルソ画像を作成するためには、何枚撮影すれば良いのかといった相談にも答えていただきました。」

長井さん：「画像は、実は山の保有者さんへの説明にも役立っています。作業前と後の様子が一目瞭然なので、地上で撮影した写真をお見せるよりも、とても反応が良いのです。撮影・オルソ化までを、自社のフローに組み込めるのは、とても良かった点ですね。」

結果

自社の成長につながると同時に、「経済」も守られる

田畑さん：「自分たちでできることが増え、私たちは解析部分のみを ForestEye さんに依頼しています。その分、費用面でも助かっています。また、林野庁からは森林整備事業の申請に、ドローン画像の活用が可能になったことも発表されており、今後は補助金申請の際に、ドローン画像やオルソ画像が役立つ機会も増えてきそうです。これまでであれば間伐などの作業後、現場へ赴いて測量や検査をする必要があったのですが、それらの手間を省くことができますようになります。」

ForestEye のサービスは、
どのような方におすすめでしょうか。

田畑さん：「1本1本の精密なデータが必要という方より、「作業量が算出できる範囲内で最適な精度のデータで良いので、経済的に無理のない価格で森林の状態を把握したい」という方にぴったりのサービスだと思います。」

長井さん：「具体的に言うと、森林組合さんや自治体さんなど、数千haを管理している方／間伐量が年間100～500ha規模の方には、特におすすめできる費用感と手軽さだと感じます。」

田畑さん：「また、「ドローンを導入してみたものの、使いこなせていない」という方や、「自分たちでオルソ画像を作ってみたいけど、どのようにしたらいいのだろう？」と考えている森林組合さん等にもおすすめです。」

張：「お困りのことがあれば、まずは気軽にご相談いただきたいです。必要なサポートは、それぞれ異なるかもしれませんが、ご相談内容に沿ったサポートが提供できればと思っています。」

「森を守りたい」という想いから自然と生まれた、
ForestEye のトータルサポート

張：「私は、森林計測・解析結果のデータをお渡しするだけの会社を作ったわけではありません。森を守るトータルサポート企業を目指していきたいと思っています。そのため、相談やサポート事業にも力を入れていきます。私たちのサポートが、結果的に森を守ることにつながっていくのだと感じられると、ワクワクします。どのような森にしていきたいのか、まずは目指す未来について対話するところから。そして、しっかりとコミュニケーションを取りながら、一緒に森を元気にしていきたいですね。」

田畑さん：「私たちも、張さんに相談するところから始まりました。今では身近な存在となりつつあるドローンをうまく活用できれば、できることの幅が大きく広がります。ドローンに興味がおありの方にはぜひ、張さんのサポートを受けながら、撮影を行ってみてほしいですね。そして、せっかく空中写真を撮るのであれば、オルソ画像の作成、解析まで行ってみることをおすすめします！」

長井さん：「山には人と同じように、それぞれの特徴があります。その特徴を知るためにも、実際に人が山に入る時間はとても大切です。私たちは、ForestEye さんのサービスを活用することで、森林調査・作業量の算出にかかる時間をグッと減らすことができ、限られた時間を有効に使えるようになりました。価格と精度のバランスがあてはまるという方は、ぜひ！山が本当に必要としていることに、時間をかけられるようになりますので。」



まずは一度、お気軽にご相談ください。

「森林調査・作業量の算出を効率化し、時間を有効活用したい。」
「半歩先を見据えて人材を育み、経済を守りながら、山を元気にしていきたい。」
「想いを共有しながら、一緒に森づくりをしていきたい。」
このような方からのお問合せを、心よりお待ちしております。

お問合せはこちら：

株式会社 ForestEye
<https://www.foresteye.co.jp>
Mail: info@foresteye.co.jp

